

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年8月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第32週(8月4日～)から第35週(～8月31日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は66.99で7月の4週換算値60.70と比べて増加した。増加の原因は新型コロナウイルス感染症とマイコプラズマ肺炎の増加である。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2024年12月～1月の流行は比較的小さいものだった。2025年は、第24週以降に増加し、7～8月の流行は5年連続となったが、規模は昨年までよりも小さくなりそうである。

1位は新型コロナウイルス感染症で29.53（7月2位4週換算値13.72）と増加した。2位は感染性胃腸炎で15.46（同1位20.07）と減少した。3位は伝染性紅斑で7.33（同3位8.23）、4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.63（同4位8.20）、5位はヘルパンギーナで4.62（同5位6.90）といずれも減少した。6位はマイコプラズマ肺炎で4.42（同6位3.58）と増加した。急性呼吸器感染症は183.95で7月の4週換算値208.34と比べて減少した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	32週	33週	34週	35週	計
1	新型コロナウイルス感染症		6.13	6.30	8.73	8.37	29.53
2	感染性胃腸炎		4.59	2.46	4.08	4.33	15.46
3	伝染性紅斑		2.07	1.16	2.07	2.03	7.33
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.74	0.97	1.34	1.58	5.63
5	ヘルパンギーナ		1.69	0.77	0.97	1.19	4.62
6	マイコプラズマ肺炎		1.23	1.16	0.98	1.05	4.42
	急性呼吸器感染症		52.49	34.14	47.57	49.75	183.95

県内情報

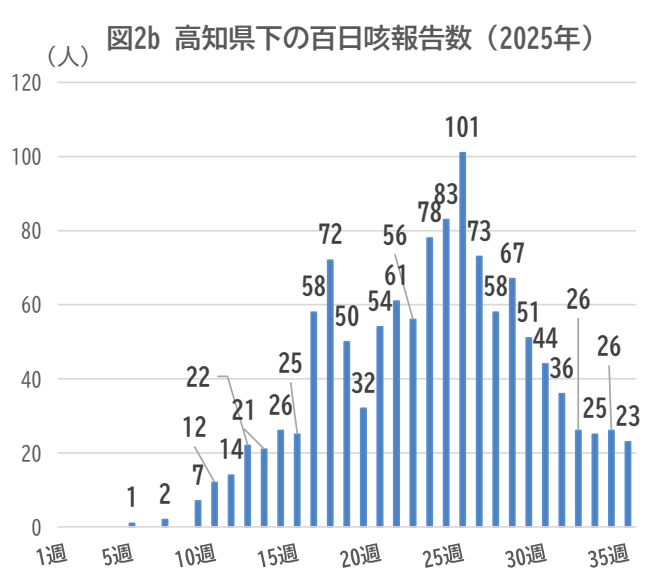
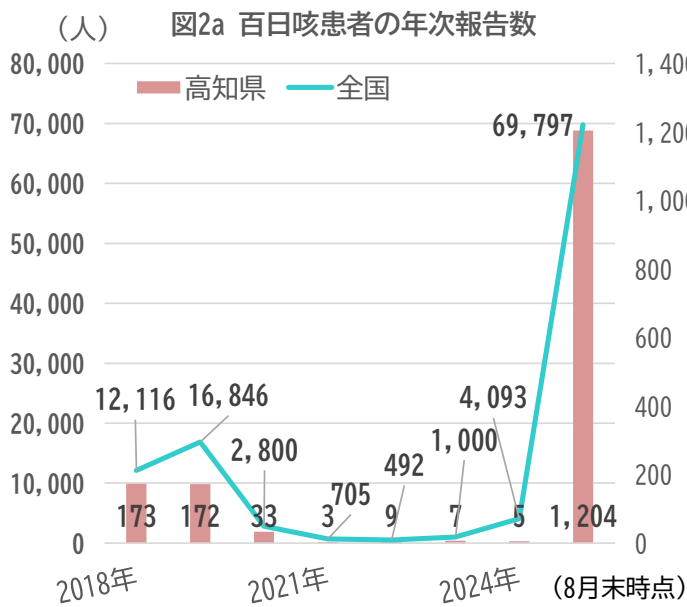
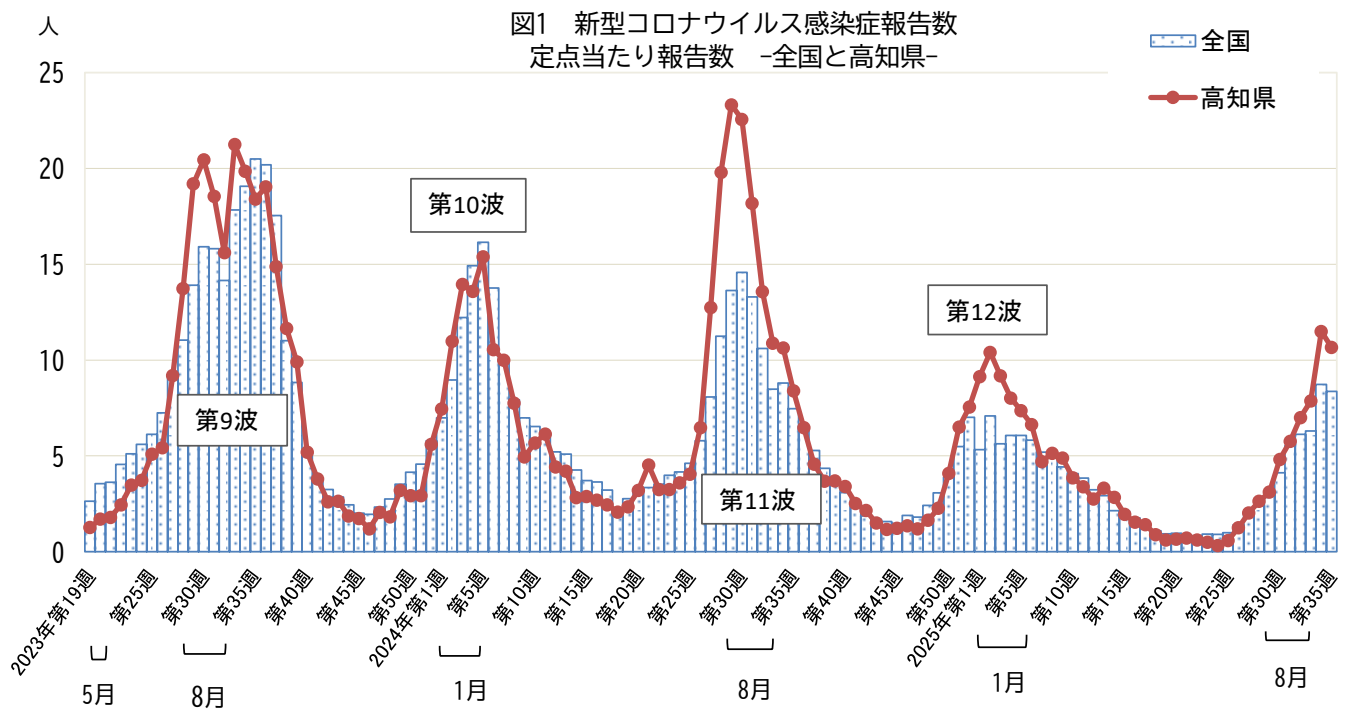
1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計は65.49で7月の4週間換算値59.00と比べて増加し、全国と同等だった（表2）。増加の原因は新型コロナウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、RSウイルス感染症の増加である。

1位は新型コロナウイルス感染症で37.03（同2位14.68）と増加し全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で9.00（同3位9.36）と横ばいで全国よりも少なかった。3位はヘルパンギーナで5.80（同1位19.52）と減少したが全国よりも多かった。4位はマイコプラズマ肺炎で5.01（同8位3.42）、5位はRSウイルス感染症で4.90（同7位3.52）といずれも増加し全国よりも多かった。6位は伝染性紅斑で3.75（同5位3.92）と横ばいで全国よりも少なかった。急性呼吸器感染症は163.53で7月の4週換算値160.49と比べて横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	32週	33週	34週	35週	計
1	新型コロナウイルス感染症		7.00	7.87	11.50	10.66	37.03
2	感染性胃腸炎		2.10	2.45	2.40	2.05	9.00
3	ヘルパンギーナ		2.15	0.80	1.60	1.25	5.80
4	マイコプラズマ肺炎		1.25	1.13	0.88	1.75	5.01
5	RSウイルス感染症		1.90	0.60	1.10	1.30	4.90
6	伝染性紅斑		1.30	0.75	1.00	0.70	3.75
	急性呼吸器感染症		41.71	36.61	43.05	42.16	163.53



2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。全国では麻疹が増加し、第34週までに217名の感染者が報告されている (<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-34.pdf>)。都道府県別では、神奈川県 40名、東京都29名、茨城県と千葉県が22名、大阪府16名、福岡県15名、兵庫県13名、愛知県10名とつづき、30都道府県から報告がみられる。四国でも香川県2名、徳島県1名が報告されている。患者は20～40歳代が主で63%を占め、「麻疹は成人の感染症」という認識が必要であるが、乳児と1～4歳もそれぞれ9%を占めている。海外で感染を受けた者（輸入感染例）が70名で、その内訳はベトナムが最多で54名、タイ3名、フィリピンとモンゴルが各2名で、ヨーロッパでの感染も散見される。感染予防には、麻疹含有ワクチンを2回受けることが最も重要である。

2月から県下で百日咳の発生届が増加し、9月3日までに1,213件が報告された。全数報告が開始された2018年以降で、2025年が最大の報告数となった(図2a, 図2b)。全国各地でマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳菌の報告が相次ぎ、高知県の調査では、2025年4月～6月に採取された百日咳患者の60検体のうち17検体(28%)から、マクロライド耐性百日咳菌が検出されている。県外で人工呼吸管理を要する乳児期早期例や死亡例が報告されているが、県下でもネーザルハイフローによる呼吸補助を要する乳児例が複数報告されている。

2024年12月に「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について、厚生労働省から通達があった（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345108.pdf>）。さらに、2025年2月6日には、E-11感染症の実態把握を目的に、厚労省は都道府県・保健所設置市に対して、積極的疫学調査の協力依頼を発出した（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>）。対象は重症感染症を呈した3か月以下の乳児で、①呼吸器由来検体（咽頭ぬぐい液等）、②消化器由来検体（ふん便や直腸ぬぐい液）、③血清、④髄液を衛生環境研究所に送付することとなっている。2024年に高知県ではE-11が6件検出されており、重篤となりやすい新生児感染例に注意する必要がある。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 6,214名（7月 7,623名）。2025年4月7日からサーベイランスが開始された。報告数は7月に比べて減少し、高知市、中央西、中央東、幡多、須崎、安芸の順に多く報告された。提出された26件の検体のうち42.3%からウイルスが検出された。その内訳は、Rhinovirusが5件、Influenza virus AH3が2件、同A H1pdm09、同A not subtypedが各1件、Adenovirus 1、Coxsackievirus A4、Parainfluenza virus 3型、同4型、Respiratory syncytial virus Bがそれぞれ1件ずつ検出された。

2) インフルエンザ

報告数 137名（7月 80名）。2024/25シーズンは、12月に始まる二峰性の流行（第2週と第16週にピーク）だった。6月に流行はほぼ収束していたが7月に増加した。8月の高知県は、夏の流行が恒例である沖縄県に次いで2番目に定点報告数が多い都道府県となった。

高知市、中央東、須崎、中央西、幡多の順に多く報告された。7月以降に、AH1pdm09が3件、AH3とA not subtypedが各2件検出された（すべて急性呼吸器感染症として提出）。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 1,407名（7月 697名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。波の高さは減衰しているが、年末年始と夏に流行する傾向は変わらない。県下全域から報告があり、中央西、高知市、中央東、須崎、安芸、幡多の順に多かった。

4) 咽頭結膜熱

報告数 18名（7月 27名）。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多が続いたが、2024年5月以降は平年並に落ち着いている。高知市、幡多、中央東から報告された。咽頭結膜熱の患者からアデノウイルスは検出されていないが、それ以外の患者から Adenovirus 1型が2件、2型とC型が各1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 72名（7月 195名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年は平年並で推移している。安芸以外から報告され、高知市、幡多、中央西、中央東、須崎の順に多かった。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 180名（7月 234名）。2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられたが、4月以降は平年並である。県下全域から報告があり、幡多と高知市がとくに多かった。病原体は検出されていない。

7) 水痘

報告数 11名（7月 12名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているが、稀少な感染症となったわけではない。幡多、中央東、高知市から報告があった。

8) 手足口病

報告数 72名（7月 93名）。2024年は4月に流行が始まり、二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A 6、A10とA16の3種類）となり、過去10年間で最大規模だった。2025年は5月に流行が始まり、7月の93名をピークに減少に転じた。安芸以外の全域から報告されており、高知市がとくに多かった。Enterovirus 71、Coxsackievirus A4が各2件、Echovirus 9が1件検出された。

9) 伝染性紅斑

報告数 75名 (7月 98名)。2024年10月から増加し、2025年1月～6月は過去10年間で同時期として最多だった。安芸以外から報告があり、中央西、幡多がとくに多かった。Human parvovirus B19は、重症貧血を起こし (aplastic crisis)、妊婦に感染すると胎児水腫および流産の原因となることに注意する。伝染性紅斑と診断された者から同ウイルスが2月～8月に22件検出されている。

10) 突発性発疹

報告数 26名 (7月 33名)。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 116名 (7月 488名)。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模で、原因ウイルスが不明だった。2025年は5月に9名、6月98名、7月488名と増加したが、8月は減少に転じた。今季の流行株は Coxsackievirus A4で、6～8月に計10件検出されている。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 2名 (7月 3名)。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。中央西と中央東から各1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 98名 (7月 88名)。2021年から4年連続で夏に流行した。2025年は1月に増えはじめ、3～4月は同時期として過去10年間で最多となり、3月をピークに減少していたが、7月は再び増加に転じ、二峰性の流行になった。須崎と安芸以外から報告があり、とくに多かったのは高知市と中央東である。急性呼吸器感染症と合わせるとRS virus B型が計5件検出された。

RSウイルス感染症は、小児の全てが乳幼児期に罹る気道感染症としては最重症で年少児ほど入院のリスクが高い。須崎市では、この疾患を予防するモノクローナル抗体 (ニルセビマブ) の健常乳児への投与を公費負担で行うことを決め、6月から投与開始されている。本邦では初めての試みであり、その効果に期待と注目が集まっている。

14) 流行性角結膜炎

報告数 4名 (7月 1名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (7月 1名)。中央東から50代の患者が1名報告され、本年3例目となった。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達している。

16) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (7月 1名)。高知市から40代の患者が1名報告され本年7例目となった。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁の数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 40名 (7月 34名)。2024年は過去10年間で最大の流行となり、10月をピークに減少に転じたが報告は続いている。高知市、幡多、安芸＝中央東から表記の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 19名 (7月 27名)。中央東、高知市、幡多の順に多く報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (7月 2名)。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっていたが、本年の累計はすでに3名となっている。

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年8月）

類型	病名	報告年																
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	39	
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	39	
3	コレラ	1																
	細菌性赤痢								2									
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	6	
	腸チフス						1				1							
	バラチフス																	
計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	6		
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1	
	E型肝炎	1		1							2	1		1				
	オウム病								1									
	Q熱																	
	サル痘														1			
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	14	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3		
	デング熱	1			3	2	1				2							
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	18	
	日本脳炎	1																
	マラリア		1								1				1	1		
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	6	
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1			
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	39	
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		
	ウイルス性肝炎	3		3		1				2	1	1	2	2	2	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	10	
	急性弛緩性麻痺										1	2			1	2		
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	2	
	ジアルジア症		1	1							1						1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	11	
	侵襲性髄膜炎菌感染症						2	1	1	3		3	3	3	1		1	
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		4	
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	24	
	播種性クリプトコックス症								1	3	5			4	3	1		
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1								
	百日咳										173	172	35	3	9	7	4	1,194
	風しん			4	9	1					3							
麻しん																		
計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	130	114	110	97	1,259		
動物	鳥インフルエンザ		1															
	計		1															
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	224	224	217	196	1,343	

類型	病名	報告月								総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
2	結核	4	4	7	1	2	6	10	5	39
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			1	2	1	6
4	A型肝炎			1						1
	重症熱性血小板減少症候群				1	5	5	3		14
	日本紅斑熱					11	3	2	2	18
	レジオネラ症	1		1		1	1	1	1	6
5	ウイルス性肝炎		1	1						2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1	4	4	10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1					2
	急性脳炎							1		1
	後天性免疫不全症候群				1	1				2
	ジアルジア症								1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		2	1	2		7
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1		1	2	1	11
	水痘（入院例に限る）	1		1		1		1		4
	梅毒	4	7	2	3	4	2	1	1	24
	百日咳	1	8	62	164	267	317	275	100	1,194
総計		15	24	79	172	295	338	304	116	1,343

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

8月

定点名	保健所 疾病名	2025年						8月		
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	228	980	3,331	664	346	665	6,214	7,623	
	インフルエンザ		25	79	9	14	10	137	80	51
	新型コロナウイルス感染症	95	255	504	239	145	169	1,407	697	2,713
小児科	咽頭結膜熱		2	12			4	18	27	14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	45	7	2	11	72	195	214
	感染性胃腸炎	6	16	98	4	16	40	180	234	233
	水痘		3	1			7	11	12	12
	手足口病		4	59	2	4	3	72	93	498
	伝染性紅斑		5	31	15	3	21	75	98	1
	突発性発疹		6	14	1	2	3	26	33	34
	ヘルパンギーナ	2	12	46	16	10	30	116	488	72
	流行性耳下腺炎		1		1			2	3	3
	RSウイルス感染症		24	65	2		7	98	88	442
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4				4	1	
STD	性器クラミジア感染症			2				2	5	10
	性器ヘルペスウイルス感染症		2					2	2	2
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症								1	2
基幹	細菌性髄膜炎		1					1	1	1
	無菌性髄膜炎			1				1	1	
	マイコプラズマ肺炎	1	1	33			5	40	34	37
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									1
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)								1	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		5	13			1	19	27	15
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								2	
	薬剤耐性緑膿菌感染症								1	
計(ARIを除く)		104	369	1,007	296	196	311	2,283	2,124	4,356
前月		61	234	973	192	143	483			
前年同月		231	757	1,575	470	416	907			
小児科定点数		1	4	8	2	2	3			

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

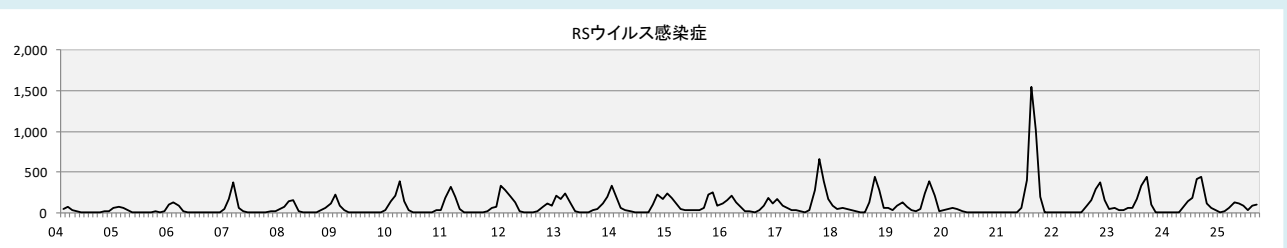
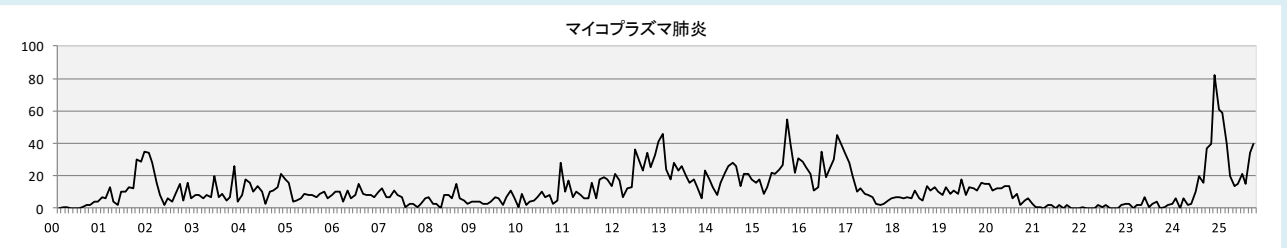
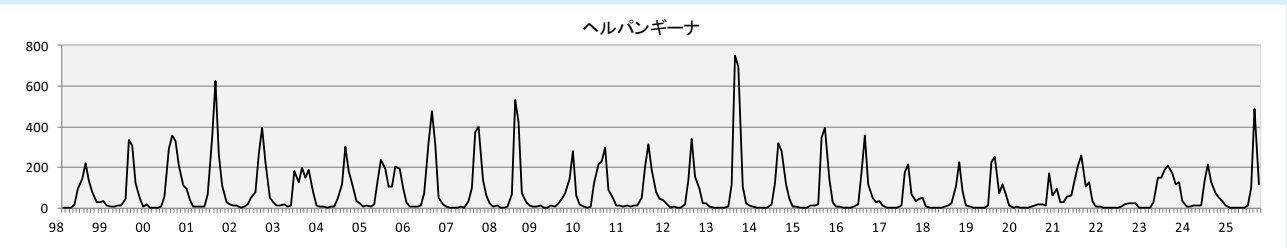
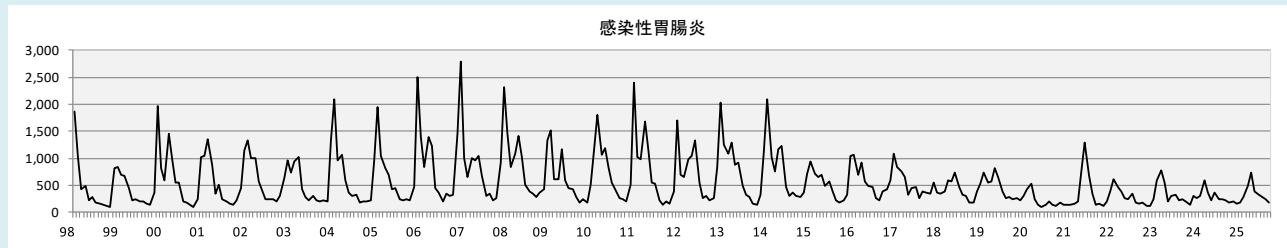
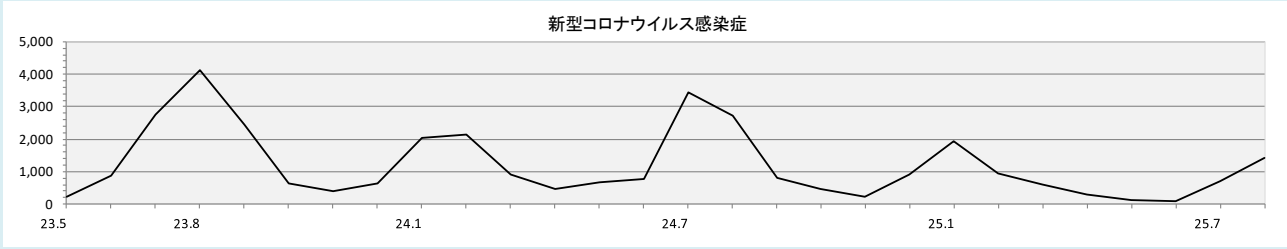
2025年

8月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	76.00	140.00	256.23	166.00	86.50	95.01	163.53	200.61	
	インフルエンザ		3.57	6.08	2.25	3.50	1.42	3.61	2.10	1.15
	新型コロナウイルス感染症	31.67	36.42	38.76	59.75	36.25	24.14	37.03	18.35	61.67
小児科	咽頭結膜熱		0.50	1.51			1.32	0.90	1.35	0.56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.75	5.64	3.50	1.00	3.66	3.60	9.75	8.56
	感染性胃腸炎	6.00	4.00	12.26	2.00	8.00	13.34	9.00	11.70	9.32
	水痘		0.75	0.13			2.33	0.55	0.60	0.48
	手足口病		1.00	7.39	1.00	2.00	1.00	3.60	4.65	19.92
	伝染性紅斑		1.25	3.89	7.50	1.50	7.00	3.75	4.90	0.04
	突発性発疹		1.50	1.76	0.50	1.00	1.00	1.30	1.65	1.36
	ヘルパンギーナ	2.00	3.00	5.76	8.00	5.00	10.00	5.80	24.40	2.88
	流行性耳下腺炎		0.25		0.50			0.10	0.15	0.12
	RSウイルス感染症		6.00	8.14	1.00			2.33	4.90	4.40
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4.00				1.33	0.33	
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33		1.67
	性器ヘルペスウイルス感染症		1.00					0.33		0.33
	尖圭コンジローマ									0.17
	淋菌感染症									0.33
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13	0.13	0.13
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13	
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00	6.60			5.00	5.01	4.27	4.64
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.13
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)								0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		5.00	2.60			1.00	2.38		1.88
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		39.67	59.99	91.32	86.00	58.25	67.54	74.14	84.00	123.74
前月		31.67	46.30	104.67	76.25	51.25	123.06			
前年同月		69.00	93.94	137.04	132.25	143.75	146.40			

注目される疾患の月別推移



高知県感染症情報（月報）
2025年8月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和6年8月はウイルス71件の搬入があり、そのうち ウイルス69件の病原体を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus1 2件、Adenovirus2 1件、AdenovirusC 1件、Coxsackievirus A4 8件、Cytomegalovirus 3件、Echovirus 9 1件、Echovirus 18 4件、Enterovirus 71 2件、Epstein-Barr virus 3件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 6件、human parvovirus B19 6件、Influenza virus A H1pdm09 1件、Influenza virus A H3 NT 2件、Influenza virus A NT 1件、Parainfluenza virus 2 1件、Parainfluenza virus 3 2件、Parainfluenza virus 4 1件、Respiratory syncytial virus B 5件、Rhinovirus 14件、Sapovirus genogroup unknown 1件、Varicella-zoster virus 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	ぬぐい液	7/12	Influenza virus A H1pdm09
2	2	女	ヘルパンギーナ	39℃, 嘔吐, 口内炎,	ぬぐい液	7/22	Coxsackievirus A4
3	5	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	7/28	Rhinovirus
4	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	7/29	Parainfluenza virus 4
5	2か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	7/29	Rhinovirus
6	8	男	—	39℃, 発疹,	ぬぐい液	7/30	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
7	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	7/30	Cytomegalovirus Rhinovirus
8	1か月	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	7/31	Echovirus 18
9	7か月	男	不明発疹症	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/31	Echovirus 18 Human herpes virus 7
10	1	男	RSウイルス感染症	38℃, 気管支炎,	鼻咽頭ぬぐい液	7/31	Respiratory syncytial virus B
11	7	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	8/1	human parvovirus B19
12	2か月	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	8/1	Cytomegalovirus Varicella-zoster virus Rhinovirus
13	4	男	ヘルパンギーナ	咳嗽, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	8/1	Parainfluenza virus 2
14	3か月	女	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	8/2	Cytomegalovirus Echovirus 9
15	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	8/4	Influenza virus A H3 NT
16	4か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	8/4	Rhinovirus
17	2	男	ヘルパンギーナ	40℃,	ぬぐい液	8/4	human parvovirus B19 Coxsackievirus A4
18	1	女	RSウイルス感染症	39℃, 咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	8/7	Adenovirus 1 Parainfluenza virus 3 Respiratory syncytial virus B
19	5	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	8/7	Influenza virus A NT Rhinovirus
20	5	男	不明発疹症	38℃, 発疹,	ぬぐい液	8/8	Echovirus 18 Human herpes virus 7
21	11か月	男	咽頭結膜熱	38℃, 咳嗽, 発疹,	鼻咽頭ぬぐい液	8/8	Human herpes virus 6
22	5	女	水痘	発疹,	ぬぐい液	8/8	Rhinovirus
23	7	男	伝染性紅斑	38℃, 発疹,	ぬぐい液	8/8	Echovirus 18 Human herpes virus 7 Adenovirus C
24	6	男	伝染性紅斑	38℃, 発疹,	ぬぐい液	8/12	human parvovirus B19
25	6	男	—	39℃, 発疹,	ぬぐい液	8/13	human parvovirus B19
26	1	女	RSウイルス感染症	40℃, 咳嗽,	鼻汁	8/13	Respiratory syncytial virus B
27	2	女	急性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	8/14	Adenovirus 2 Sapovirus genogroup unknown Rhinovirus
28	6	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/16	human parvovirus B19 Enterovirus 71 Epstein-Barr virus Human herpes virus 7 Rhinovirus

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
29	1	男	突発性発しん	39℃, 発疹,	ぬぐい液	8/16	Human herpes virus 6
30	8	女	肝脾腫	40℃,	ぬぐい液	8/18	Epstein-Barr virus
31	4	女	手足口病	口内炎,	ぬぐい液	8/18	Epstein-Barr virus
32	3	男	急性上気道炎	41℃,	ぬぐい液	8/19	Coxsackievirus A4
33	10か月	男	RSウイルス感染症	39℃, 咳嗽,	鼻汁	8/19	Respiratory syncytial virus B
34	4	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃,	鼻咽頭ぬぐい液	8/20	Influenza virus A H3 NT
35	2	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	咳嗽, 気管支炎,	鼻汁	8/21	Parainfluenza virus 3 Rhinovirus
36	4	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃,	ぬぐい液	8/22	Coxsackievirus A4
37	4	男	ヘルパンギーナ	39℃,	ぬぐい液	8/22	Coxsackievirus A4
38	1	女	手足口病	口内炎,	ぬぐい液	8/22	Coxsackievirus A4
39	5	男	手足口病	38℃, 口内炎,	ぬぐい液	8/22	Coxsackievirus A4
40	6	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/22	Enterovirus 71
41	1	女	手足口病	口内炎,	ぬぐい液	8/22	Rhinovirus
42	4	女	ヘルパンギーナ	39℃,	ぬぐい液	8/23	Coxsackievirus A4
43	4	女	流行性耳下膜炎		ぬぐい液	8/23	Rhinovirus
44	11か月	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽,	鼻汁	8/25	Adenovirus 1 Respiratory syncytial virus B Rhinovirus
45	1	女	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	8/25	Human herpes virus 6 Rhinovirus
46	4	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/26	Human herpes virus 7

臨床診断名	病原微生物	2025年								2025年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1					3
	Rhinovirus							1		1
	計			2	1			1		4
RSウイルス感染症	Adenovirus 1								1	1
	Adenovirus 2					1				1
	Parainfluenza virus 3						1		1	2
	Respiratory syncytial virus A					4				4
	Respiratory syncytial virus B					2	3	1	4	10
	Rhinovirus					1	2			3
計					8	6	1	6	21	
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1				1
	Adenovirus 5			1			1			2
	Adenovirus C						1			1
	Human herpes virus 6								1	1
	Parainfluenza virus 3						1			1
	Rhinovirus		1				1	1		3
計		1	1		1	4	1	1	9	
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1						1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2							17
	Influenza virus A NT	1								1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1						6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1					5
	Rhinovirus								1	1
計	19	6	4	1				1	31	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1		1					2
	Adenovirus 41				1	1				2
	Astrovirus NT			1						1
	Norovirus GII NT		2	7	7					16
	Rhinovirus				1					1
	Rotavirus group A G1						1			1
	Rotavirus group A G3					1				1
	Rotavirus group A G8		1		1	1				3
	Rotavirus group A NT					1				1
	Sapovirus genogroup unknown			1	2	2				5
計		4	9	13	6	1			33	

臨床診断名	病原微生物	2025年								2025年総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12	4					59	
	計	22	21	12	4					59	
水痘	Human herpes virus 7					1				1	
	human parvovirus B19						1			1	
	Rhinovirus								1	1	
	Varicella-zoster virus	1				2	1			4	
	計	1				3	2		1	7	
手足口病	Coxsackievirus A4									2	2
	Cytomegalovirus									2	2
	Echovirus 9								1	1	
	Echovirus 18							2		2	
	Enterovirus71	1	1						1	2	5
	Epstein-Barr virus	1					1			2	4
	Human herpes virus 6		1							1	2
	Human herpes virus 7								2	2	4
	human parvovirus B19									1	1
	Parainfluenza virus 1							1			1
	Parainfluenza virus 3							1			1
	Rhinovirus			1				1	1	4	7
	計	2	3					4	6	17	32
伝染性紅斑	Adenovirus 2					1					1
	Adenovirus 41				1						1
	Adenovirus 54						1				1
	Adenovirus C									1	1
	Echovirus 18									1	1
	Epstein-Barr virus					1					1
	Human herpes virus 6		1				1				2
	Human herpes virus 7		1		7	3	3			1	15
	Human metapneumovirus			1							1
	human parvovirus B19		1	2	7	6	5			1	22
計		3	3	15	13	8			4	46	
突発性発疹	Echovirus 18								1		1
	Human herpes virus 6	1	1						1	1	4
	計	1	1						2	1	5
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A4							1	5	4	10
	human parvovirus B19									1	1
	Parainfluenza virus 2									1	1
	Parainfluenza virus 3									1	1
	Rhinovirus				1					1	2
	計				1			1	7	6	15
流行性耳下腺炎	Rhinovirus									1	1
	計									1	1
その他	Adenovirus 1					1	1				2
	Adenovirus 2		1		1					1	3
	Adenovirus C							1			1
	Coxsackievirus A4								1	1	2
	Cytomegalovirus		1	1	1					1	4
	Echovirus 18		1						2	3	6
	Epstein-Barr virus			2	1	1	1	2	1		8
	Human herpes virus 6		1	2	3	2	2	1			11
	Human herpes virus 7				2	3	3	2	3		13
	Human metapneumovirus		2								2
	human parvovirus B19	1		2	1	3				3	10
	Norovirus GII NT		1	1	2	1					5
	Parainfluenza virus NT					2					2
	Parainfluenza virus 1								1		1
	Parainfluenza virus 3							1	1		2
	Respiratory syncytial virus B	1									1
	Rhinovirus	1	2	1	2	2	3	5	2		18
	Sapovirus genogroup unknown				1						1
Varicella-zoster virus				1						1	2
Escherichia coli astA, aggR (+)	1										1
計	4	9	9	15	15	12	15	17		96	
総計	49	48	40	50	46	38	33	55		359	

臨床診断名	病原微生物	2025年					2025年 総計
		4月	5月	6月	7月	8月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	1			3
	Adenovirus C			4			4
	Adenovirus 1		1			1	2
	Adenovirus 2		3	2	1		6
	Coxsackievirus A4			1		1	2
	Echovirus 18		1				1
	Enterovirus NT			1			1
	Human metapneumovirus	3	1				4
	Influenza virus A H1pdm09				2	1	3
	Influenza virus A H3 NT					2	2
	Influenza virus A not subtyped				1	1	2
	Influenza virus B/Victoria	6	1	3			10
	Parainfluenza virus 1				1		1
	Parainfluenza virus 2				2		2
	Parainfluenza virus 3		10	14	12	1	37
	Parainfluenza virus 4		1		1	1	3
	Respiratory syncytial virus	1					1
	Respiratory syncytial virus A		1	1	1		3
	Respiratory syncytial virus B	3	2	3		1	9
	Rhinovirus	14	11	8	6	5	44
SARS-CoV-2	20	3				23	
	検査検体数	28	28	27	22	26	131
	検出検体数	27	24	25	19	11	106
	検出率 (%)	96.4	85.7	92.6	86.4	42.3	80.9

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。